

緑陽台認定こども園 園長だより

令和4年7月22日 緑陽台認定こども園 No.9 文責：川原

ボディペインティング

夏らしい天气に恵まれない日々が続いていますね。昨年の今頃は全身びしょ濡れになって水遊びを楽しんでいた子どもたちですが、今年は水あそびがまだ数回しかできていない状況です。

7月19日（火）以上児合同で「ボディペインティング」を行いました。本当ならグラウンドいっぱい大きな紙を広げて行いたいところですが、ご存じの通り運動会の開催がこれからですので、グラウンド内には入らないように端っこで行いました。

晴れている日であれば遊びもダイナミックに行えるのですが、気温は低くはないですが曇り空の中での「ボディペインティング」でしたので、控えめに・・・と、思っていたのは大人だけで、「ボディペインティング」が始まるとどんどん夢中になって行く子どもたちでした😊 手で絵具の感触を感じたり、色の混ざりを楽しんだり、思い思いに楽しむ姿がありましたよ♪

着替えの準備等、ご協力ありがとうございました。今後も、北海道の短い夏を楽しみたいと思います。引き続き、水あそび用具の準備をよろしくお願いいたします。





泥だんご作り

帯広葵学園が運営する認定こども園・保育園の年長児は、卒園記念として「光る泥だんご」の制作をしています。

7月21日(木) ぞう組さんが「光る泥だんご」作りをしました。バスのおじさんがあらかじめ泥でできた“泥だんごの元になる玉”を作っておいてくれて、子どもたちは元玉に漆喰を塗って瓶の口で磨いていきます。今回も十勝左官工業協同組合の南川さんにお手伝いいただきながら、「光る泥だんご」作りを行いました。

白の漆喰を塗って瓶の口で磨いていくと表面がなだらかになり、きれいになってきます。次に自分で選んだ色のついたきめの細かい漆喰を塗ってさらに磨きます。きめの細かい色漆喰を塗って瓶の口で磨いていくとツルツルして光沢が出てきます。ピカピカ光るまで磨くのは根気がいる作業です。繰り返しの作業で、途中で疲れてしまう様子のお友だちもいましたが、泥だんごが光ってくるとその疲れも吹き飛び、夢中になって磨いていましたよ。世界に一つの自分だけの「光る泥だんご」が完成し、大満足の子どもたちでした。

完成した泥だんごは音更町図書館にて『光る泥だんご展』を開催し地域の皆さんにも観ていただきます。今年の『光る泥だんご展』は12月6日(火)から12月18日(日)に音更町図書館で行われる予定です。詳細が決まりましたら、再度お知らせいたします。



大切な命を守るために

職員の園内研修として「救急救命」に関する研修をしています。全職員対象として、3回に分けて音更消防署の消防士の方に講習をしていただいています。先日1つ目のグループが研修を終えました。

模擬 AED と小児・乳児の人形を使いながら、AED の使い方や小児・乳児に対する心肺蘇生や応急手当の仕方等、救命救急の手順を確認しました。子ども達の命を守るための情報、知識を学ぶことができました。

日々、子ども達が安全に過ごせるように、緊急時に役立てていきたいと思ひます。



一号保育夏休みです

7月23日(土)～8月18日(木)は、1号保育のお子様は夏休みとなります。

(運動会が夏休み中開催となるため、夏休み期間が年間行事予定と変更になっています。)

夏休み中も規則正しい生活を心がけて、生活リズムを壊さないようにしましょう。

お外遊びは必ず保護者の方が付き添い、事故、怪我のないようにお過ごしください。また、道路の一人歩きは危険です。交通安全に気を付けてお過ごしください。

